

相澤病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

研究担当者の説明をお聞きになり、質問などありましたら説明者にお尋ね下さい。

研究課題名 (研究番号)	大腿骨近位部骨折術後患者の体組成測定における測定姿勢による計測値の比較(承認番号 2025-080)
当院の研究責任者 (所属・職名・氏名)	整形外科リハ科 理学療法士 武田将門
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	<p>「体組成の測定」は、身体に微弱な電気を流してその電気抵抗を測定して体脂肪率、筋肉量などを推定します。これを生体電気インピーダンス法(BIA)といいます。筋肉は電気を通しやすく、脂肪は電気を通しにくいいため、この特性を利用して、筋肉と脂肪の割合を割り出します。</p> <p>測定された体組成値は、様々な疾患の臨床転帰や死亡率の予測に用いられています。大腿骨近位部骨折患者では術後疼痛や筋力低下の影響から測定肢位が制限される場合がありますが、大腿骨近位部骨折患者の体組成値と測定姿勢の関係は明らかにされていません。</p> <p>本研究の目的は大腿骨近位部骨折患者さんに対して、BIAを用いて測定した体組成値の測定姿勢による違いを明らかにすることです。</p>
調査データ 該当期間	2025年10月～2026年9月
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる患者さん 上記の期間中に、75歳以上の女性の大腿骨近位部骨折術後患者さんで、この研究に同意を頂いた方を対象に、術後2週間目に測定を行います。測定は、臥位姿勢と座位姿勢で1回ずつ行います。 測定は、通常の測定で使用している測定器を使用します。</p> <p>●利用する情報 カルテに記録されている基本情報(年齢・性別・診断名など)、移動能力、認知機能、日常生活動作能力、身体活動量をBIAの補足情報として使用します。</p> <p>●研究期間: 2025年11月5日～2026年10月31日</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません
個人情報の取り扱い	利用する情報から個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報などの個人情報を削除して患者さんを直接特定できる情報は削除致します。また、研究成果は学会・論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません

様式 16

お問い合わせ先	相澤病院 整形外科リハ科 理学療法士 武田将門 Tel : 0263-33-8600(代表)
備考	この研究に同意された後で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、上記の問い合わせ先（担当者）にお申し出下さい。その場合でも、それまでと同様に診療、リハビリを行います。